

ERL推進室報告

2008年10月30日 河田 洋

○ 9月16日に第一回ERL推進委員会が行われた。今回は今までの活動状況の報告が主に行われたが、29名の委員の参加のもと、ERLにおける技術開発、そのサイエンスの検討方針に関して貴重なアドバイスを頂いた。今後、半年に一度の頻度で、かつオープンミーティングで推進委員会を開催する予定。



ERLのサイエンスに関する戦略会議（ERLならではのサイエンスケースの方向性を出す） 12月末までに3回行い、方向性を出す。

参加者>基本的に推進委員会の利用系委員を中心に

雨宮(東大)、朝倉(北大)、腰原(東工大)、並河(学芸大)、野村(PF)、若槻(PF)、下村(KEK)、春日(PF)、足立(PF)、平野(PF)、坂中(PF) (敬称略)

○ 9月26日に、河田、春日、坂中、古屋がAPSに出向き、お互いに現状認識のプレゼンテーションを行い、ERL開発に関する今後の研究協力に関する打ち合わせを行なった。その結果、超伝導空洞の開発、コンパクトERLの運転(コミッショニング)、5-7GeVのERLの設計研究、共振器型XFELの開発研究等に協力関係を構築することが提案され、先ずは包括的なMoUの締結を進めることが結論された。

○ ERL 推進室報告を11月27日午後に行う。

○ 任期なしの助教公募(公募番号 加速器08-6)、特別助教(任期付き)の公募(公募番号 加速器08-9)、(12月19日締め切り)

"KEK/PF - APS collaboration Meeting" (September 26, R.5000, Bldg.401)

Welcome - M.Gibson, E.Gluskin

"Outline of the ERL project at KEK" -H.Kawata

"Concepts and Beam Dynamics for an ERL Upgrade at the APS" -
M.Borland

"Status of R&D efforts toward the ERL-based synchrotron
light source" - S. Sakanaka

"An X-Ray FEL Oscillator with a Recirculating Linac" - K.-J.Kim

"High Brightness Source R&D: Photocathode Emission Physics
and Injector Optimization Modeling" - K.Harkay

"Present status of the development on super-conducting cavities" -
T. Furuya

"Summary of SRF R&D Initiatives at the APS" - A.Nassiri.

Round table discussion

Facilities tours

11月27日のERL推進室報告会

- KEK内の推進室(ILC、ERL、測定器開発等々)の横の連携を図る。
- プログラム案 11月27日午後 2号館1階会議室
 - 1) 全体概要 (河田)
 - 2) コンパクトERLの全体設計(坂中)
 - 3) 電子銃とレーザーのR&D(羽島)
 - 4) 前段加速部超電導空洞(野口)
 - 5) 主加速部超電導空洞(古屋)
 - 6) RF電源(福田)
 - 7) 冷凍設備(細山)
 - 8) 東カウンターホール整備(春日)

ERL開発関係の補正予算内示に関して

- 東カウンターホール改修(耐震補強および換気・断熱作業)
- 大電流電子ビーム発生装置用設備(冷却水設備、電源設備)
- ヘリウム冷凍設備
- 2008年度中に契約を済ましてすべての作業を2009年度中に終了する。2010年度に東カウンターホールは基本的にレディー状態となる。